

令和7年3月7日

## 令和6年度 とうきょう すくわくプログラム推進事業 活動報告書

学校名	都立葛飾ろう学校
所在地	葛飾区西亀有 2-58-1

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

えがく つくる

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子供たちの興味関心、学校の特色など)

本校は3～5歳児が通学するろう学校であり、前年連の幼児合わせて19名である。少人数ゆえに学年を超えた活動が活発であり、関係も深い。制作活動に興味がある幼児が多く、自由活動の中でも作ったり描いたりすることが多いため、このテーマを設定した。

### 2. 活動スケジュール

10月～ 各グループ月1回程度の制作活動の実施  
活動後の保育者同士での話し合い  
環境整備  
新たな活動の実施  
2月 まとめ

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・様々な色の画用紙やクレヨン、絵の具などの画材
- ・制作活動に使用できるハサミやのり、テープなどの道具またストローやビーズ、セロハンなどの材料
- ・移動式ワゴンを購入し、用意した道具を整理しておくことで道具や材料を取りやすくしたり、動かしてどこへでも持っていきたりするようにした。
- ・低い棚を整理し、幼児が自分でほしい道具や材料を選べるようにした。

#### 4. 探究活動の実績

##### <活動の内容>

###### <スタンドグラス作り>

画用紙を切って型を抜き、その中にカラーセロハンを貼ってスタンドグラスを作った。

自分で型紙を使って縁取りをし、線に沿って紙を切った。始めはツリーの形から始め次に好きな形に切ってスタンドグラスを作れるよう設定した。形によっては切りづらい箇所があり、切り取ってしまった子がいた場合は、どのようにしたらよいかを一緒に考え、対応するようにした。

別日にこれまでとは違う形を切って作った。前回の活動を振り返り、線対称になるように切ることを考えてさせてから活動を始めた。型紙は使用せず、自分で線を描くようにした。セロファンのは大きさは特に指定しなかった。また、あえて上手に切ったり貼ったりする方法を教えず、できた友達に教えてもらうよう促した。

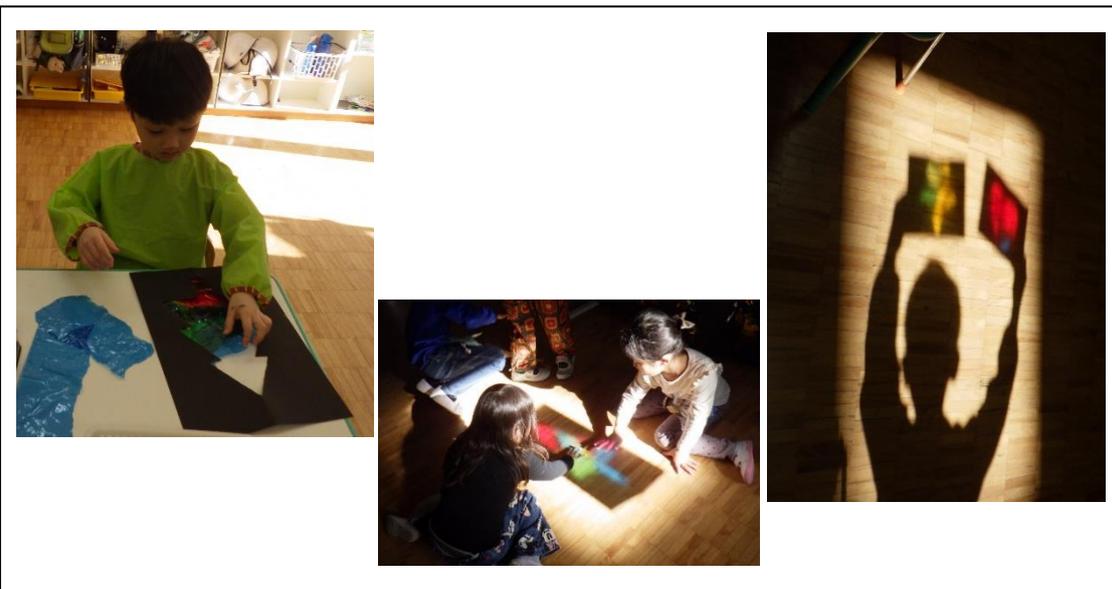
##### <活動中の子供たちの姿・声、子供同士や子供と先生との関わり>

スタンドグラスは、いろいろな所で見たことがあるようで、とても興味をもって取り組んだ。

大きくセロファンを切り、そのまま貼るといった大胆な子もいれば、小さく切って色を細かく使い分けこだわりながら貼る子もいた。また、セロファンを重ねて貼り、基本の色以外の色を作っている子もいた。ハートと星のイメージカラーがある子は、あえてセロファンを1色しか使わずに作っている姿が見られた。

完成後は、教室に陽がさしていたため、自分の作品を陽にかざしていた。床に色が映っていることに大興奮していた。形や色がきれいに映るように、陽の当て方を工夫していたり、セロファン部分から陽を見たりして、楽しんでいる様子が見られた。色が映ったところに手を当ててみたり、寝転んでみたりしている子もいた。

##### <活動の様子>



## 5. 振り返り

(振り返りによって得た先生の気づき)

幼児の想像力は無限大であり、保育者である大人が想像するものとは全く違った新しい切り口での考えを出してくることが改めて分かった。これまでは、決められた工程をどのように達成するかを基本に制作活動を行ってきたが、本プログラムによる取り組みを通して、自由に作ったり描いたりすることの楽しさや面白さを子供たちだけではなく保育者も感じる事ができた。学校では用意しきれない材料や道具が準備できたおかげで、子供たちの「作りたい」「描きたい」気持ちも更に高まったと感じる。

また、道具や材料を整理できたおかげで子供たちが自分で取り出したり片づけたりする習慣がさらに定着するように思える。必要な時に保育者に伝えて持ってきてもらうのではなく、必要なものは自分で探して取ってくるという自主性も育ってきたように感じた。